



令和5年度

公益社団法人 日本補綴歯科学会

第2回 専門医研修会

テーマ：部分床義歯の設計を再考する

抄録集

日時：2023年6月18日（日）10：00～12：00

会場：WEB開催（Zoom Webinar）

主催 公益社団法人 日本補綴歯科学会

学会事務局：

〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階

TEL：03-6722-6090

運営事務局：株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ

〒950-0983 新潟市中央区神道寺1丁目6-14

令和 5 年度
公益社団法人 日本補綴歯科学会
第 2 回専門医研修会

抄録集

目 次

1. 専門医研修会参加の皆様へ	1
2. 専門医研修会タイムテーブル	5
3. 専門医研修会抄録	7

1. 専門医研修会参加の皆様へ

開催概要

開催方式：WEB 開催（ライブ配信＋オンデマンド配信）

日 時：ライブ 2023 年 6 月 18 日（日）10:00～12:00

オンデマンド 2023 年 6 月 20 日（火）～6 月 30 日（金）

（オンデマンドでの視聴は、単位は付与されません。）

単位について

4 単位（本年度中の専門医研修会への参加回数の制限はありませんが、年度内 8 単位を取得上限とします。）

【単位付与条件】

ライブ配信視聴の場合のみ単位付与します。

ライブ配信開始 5 分後以降の入室，終了予定時刻 10 分前以前の退室には単位を付与しません。

アクセスログで単位登録いたしますので，視聴中の通信環境にご留意ください。

後日のオンデマンド配信視聴は，参加費をお支払いいただければ何度でも可能ですが，単位は付与されません。

【日歯研修単位】

日本歯科医師会会員の方は，上記と同じ条件で研修単位を付与しますので，申し込みページに **日歯 IC カード番号（6 桁）** を記入して下さい。

【アンケート】

単位取得に必須ではありませんが，アンケートサイトのアドレスをご案内しますので，ご協力をよろしくお願いいたします。

参加登録

申し込みは、2段階となっております。管理の都合上、お手数をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

参加費（3,000円）のお支払い方法は、1) クレジットカード決済または2) 銀行振込の2通りとなります。

※登録されるメールアドレスについて

キャリアメール（docomo.ne.jp, ezweb.ne.jp, softbank.ne.jp 等）をお使いの場合、自動返信メールが届かない可能性がありますので、極力キャリアメール以外でのご登録をお願いいたします。

【研修会参加申込フォームはこちら】

https://app.payvent.net/embedded_forms/show/642d32c7e4e22b3f12d31e99

（業務委託先の Payvent システム（株式会社 Urbs 運営）に移動します）

<ご案内>

令和5年度は国内企業および他学会の運用実績をもとにセキュリティ対策を講じたシステムを採用いたしました。

プライバシーポリシー

<https://payvent.net/privacy-policy/>

1. 研修会参加申込フォームにて、必要事項をご入力いただき、お支払方法を選択の上、決済画面へお進みください。
2. 参加登録・参加費のお支払いが完了すると、ご登録いただいたメールアドレス宛に自動返信メールが届きます。
3. 銀行振込の方は、登録されたメールアドレス宛に自動返信メールが届きます。そちらのメールに、お振込み口座が記載されていますので、6月14日（水）までにお振込みください。

お振込先は、本参加登録システム Payvent が利用している決済代行会社が指定する銀行口座（stripe（ストライプ））へのお振込みとなります。

※同じアドレス宛に Zoom の URL をご連絡いたしますので、自動返信メールの受信を必ずご確認ください。

4. 6月15日(木)に、視聴登録用 URL を、入力されたメールアドレス宛にお送りいたします。視聴登録用 URL から「ウェビナー登録」の登録ページを開き、登録時と同じお名前とメールアドレス、補綴歯科学会会員番号をご入力ください。登録後、no-reply@zoom.us から参加用のメールが届きます。

参加・視聴方法

上記の2段階目の登録終了後に no-reply@zoom.us から届きましたメールからご参加ください。メール下段の「ウェビナーに参加」を押すか、URL をクリックしてください。当日は30分前より入室可能です。

参加する皆様へ

1. 使用ツールおよび登録のお願い

本専門医研修会は Zoom 会議システム（ウェビナー）を利用します。専門医研修会開催までに各自にて事前にお持ちの PC、タブレット、または携帯端末等へ Zoom アプリのインストールおよび事前登録の氏名とメールアドレスの入力をお願いいたします。

※アプリからご視聴の際は6月15日(木)に配信されるメール記載の ID、パスコードをご入力願います。

2. オンデマンド配信について

1. **視聴用 URL は、運営事務局より6月20日(火)に参加登録者に一斉にEメールにて送信**されます。
2. なお、フリーメールや携帯キャリアのメールは迷惑メールフォルダへサーバーが自動振り分けする場合がありますので、**受信トレイ以外もご確認**頂きますようお願いいたします。

事務局・お問い合わせ

1 研修会について

公益社団法人日本補綴歯科学会事務局

〒105-0014

東京都港区芝 2-29-11 高浦ビル 4 階

TEL : 03-6722-6090

hotetsu-gakkai01@hotmail.com

2 参加登録について

株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ内

〒950-0983 新潟市中央区神道寺 1 丁目 6-14

TEL : 025-278-7232 FAX : 025-278-7285 (平日 9 : 00 ~ 17 : 00, 土, 日, 祝日休み.)

E-mail : jps@shinsen-mc.co.jp

2. 専門医研修会タイムテーブル

10:00-10:50

【講演1】すれ違い咬合に対するパーシャルデンチャーの設計を再考する

座長：横山 敦郎（北海道・東北支部）

若林 則幸（修練医・認定医・専門医制度委員会）

演者：鈴木 恭典（西関東支部）

10:50-11:40

【講演2】欠損歯列の評価・欠損補綴の診査から考える義歯設計

座長：横山 敦郎（北海道・東北支部）

若林 則幸（修練医・認定医・専門医制度委員会）

演者：藤関 雅嗣（東京支部）

11:40-12:00

【質疑応答】

3. 専門医研修会抄録

専門医研修会 座長抄録

座長

横山 敦郎（東北・北海道支部）

北海道大学口腔機能補綴学教室

若林 則幸（修練医・認定医・専門医制度委員会）

東京医科歯科大学生体補綴歯科学分野

Chairpersons

Atsuro YOKOYAMA

Oral Functional Prosthodontics, Faculty of Dental Medicine, Hokkaido University

Noriyuki WAKABAYASHI

Advanced Prosthodontics, Graduate School, Tokyo Medical and Dental University

高齢になっても歯を残せる人が増え、これに伴い超高齢者でパーシャルデンチャーを装着する人の割合は増加している。一方、診断と治療方針の立案に際しては、重度の歯周炎を併発したり、すれ違い咬合であったり、さまざまな咀嚼習慣や咬合習癖を持つなど、基本的なパーシャルデンチャーの設計原則に基づく診療だけでは対応が難しい症例が増えている。本研修会では、これらの問題に対処するうえで不可欠な設計上の考え方と、診療で必要な技術とに論点を絞りたい。

鈴木先生からは、代表的な難症例としてのすれ違い咬合の症例への対応を中心にご議論いただき、義歯の回転変位を抑制するための、支持と把持を考慮した設計の方法、さらにはインプラントを含めた義歯の回転を抑制するための考え方と、実際の治療方針および設計指針を解説いただく。

藤関先生からは、欠損歯列の分類とこれによる症例の評価、義歯製作における診査項目、義歯の基本構造の役割について整理してご提示いただく。さまざまな設計の義歯の経過を供覧していただきながら、各症例の問題をどのように解決したかについて解説いただく。

実例をもとにパーシャルデンチャーによる対応力の一助となるようにしたい。

トピックス

- 部分床義歯
- 義歯の設計
- 高齢者

横山 敦郎先生



北海道大学大学院歯学研究院口腔機能学分野口腔機能補綴学教室

略 歴

1984年 北海道大学歯学部卒業

1988年 北海道大学大学院歯学研究科修了（歯学博士）

1988年 北海道大学歯学部歯科補綴学第一講座助手

2002年 北海道大学歯学部附属病院咬合系歯科講師

2005年～2017年

北海道大学大学院歯学研究科教授（口腔機能補綴学教室）
（2017年4月改組により大学院歯学研究院（口腔機能補綴学教室）に変更）

2014年～2017年

北海道大学大学院歯学研究科長・歯学部長

2017年～2018年

北海道大学大学院歯学研究院長・歯学院長・歯学部長

2017年～現在

北海道大学大学院歯学研究院教授（口腔機能補綴学教室）

若林 則幸先生



東京医科歯科大学大学院生体補綴歯科学分野

略 歴

1988年 東京医科歯科大学歯学部 卒業

1992年 東京医科歯科大学歯学研究科歯科補綴学 博士課程修了

1994年 東京医科歯科大学歯学部歯科補綴学第一講座 助手

2006年 岩手医科大学歯学部歯科補綴学第一講座 助教授

2009年 東京医科歯科大学大学院部分床義歯補綴学 准教授

2013年 東京医科歯科大学大学院部分床義歯補綴学 教授（～現在）

（2021年11月より分野名が「生体補綴歯科学分野」に変更）

2017年 東京医科歯科大学歯学部附属病院長（～2020年）

2020年 東京医科歯科大学 理事・副学長（教育担当）（～現在）

専門医研修会 講演1抄録

すれ違い咬合に対するパーシャルデンチャーの設計を再考する

演 者

鈴木 恭典（西関東支部）

鶴見大学歯学部口腔リハビリテーション補綴学講座

Reconsider the removable partial denture designs for Eichner classification C1

Yasunori SUZUKI

Department of Oral Rehabilitation and Prosthodontics, Tsurumi University

欠損補綴における難症例とは「通常の術式や補綴装置の設計製作を行っても患者満足のでられない症例群」と定義付けられている。たとえば顎堤が高度に吸収した下顎無歯顎症例は義歯の維持、安定が得られにくい難度の高い診療のひとつとして位置付けられている。一方、残存歯が存在する部分欠損症例の中では「すれ違い咬合」（Eichner 分類 C1）が対応困難な難症例のひとつに挙げられる。すれ違い咬合は無歯顎同様に下顎の定位置が消失しているため、顎位の決定はすべて術者に委ねられることになる。咬合接触や下顎位の喪失は残存諸組織や顎関節の変化を惹起するため、義歯の設計、製作にも特別な配慮が必要になる。そして、最も根源的で重大な問題は、装着後の義歯の回転変位である。その結果、早期に疼痛や褥瘡性潰瘍、義歯床や可撤性支台装置の不適合や破損、維持力不足による義歯の離脱、顎堤吸収、支台歯の喪失、義歯の変形、破折を惹起する。このような症例に対し義歯の回転変位を抑制するために、最大限の支持・把持を考慮した義歯設計が行われてきた。

今回は、最新のすれ違い咬合対策を紹介し、インプラントを含めた義歯の動揺（回転変位）を抑制するための考え方と実際の治療方針や設計指針を提示し、日常の補綴臨床におけるパーシャルデンチャーのあり方を再考する。

トピックス

- すれ違い咬合
- 義歯の回転変位
- 義歯の設計指針

鈴木 恭典先生



鶴見大学歯学部口腔リハビリテーション補綴学講座

略 歴

- 1988年 鶴見大学歯学部 卒業
- 1993年 鶴見大学大学院 修了
- 1993年 鶴見大学歯学部歯科補綴学第一講座 助手
- 2010年 鶴見大学歯学部附属病院口腔顎顔面インプラント科 助教
- 2013年 鶴見大学歯学部附属病院口腔顎顔面インプラント科 講師
- 2015年 鶴見大学歯学部有床義歯補綴学講座 講師（2011年講座名変更）
- 2019年 鶴見大学歯学部有床義歯補綴学講座 准教授
- 2023年 鶴見大学歯学部口腔リハビリテーション補綴学講座 准教授（2023年講座名変更）

所属学会など

- (公社) 日本補綴歯科学会 代議員 専門医・指導医
- (公社) 日本口腔インプラント学会 専門医

専門医研修会 講演2抄録

欠損歯列の評価・欠損補綴の診査から考える義歯設計

演 者

藤関 雅嗣 (東京支部)

東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座

Denture design based on evaluation of partially edentulous arch and diagnostic examination of prosthodontic treatment

Masatsugu FUJISEKI

Department of Removable Partial Prosthodontics, Tokyo Dental College

超高齢社会を迎えた現在、8020運動の達成者は50%を超えた反面、口腔内に問題のある歯を多く保有している高齢者が増えている。可能な限り一人ひとりの患者さんが自分の口から噛んで食事が摂れる環境を提供する役割が補綴歯科専門医には求められている。一人ひとりの患者さんに最適な治療計画を検討するとき、全身的状态や経済的要因ですべての欠損症例でインプラント治療が応用されることはないであろう。したがって部分欠損症例にパーシャルデンチャーという治療法は極めて有効な手段であり、さらに一歯欠損から一歯残存まで対応するパーシャルデンチャーでは欠損歯列の診断が大変重要であると考えている。欠損歯列という病態の臨床的評価方法には、従来 Kennedy 分類、Cummer 分類、Eichner 分類が広く知られている。義歯設計や歯列の見方を片顎単位で行う Kennedy 分類に対して、Cummer 分類や Eichner 分類は咬合支持域の部位や数に着目するため、上下顎咬合支持のパターンを把握するのに極めて有効である。さらに宮地は歯数や咬合支持がどのように推移していくのかを探るために咬合三角を提案した。今回の研修会では、これらの評価方法の特徴や実際の臨床での使い方についても触れ、欠損補綴としてのパーシャルデンチャー製作における診査項目ならびに基本構造の役割を整理し、症例ごとにどのような義歯設計になったのかを症例の経過を提示して解説する。また IOD・IARPD 症例の経過も供覧いただき、患者さんに喜ばれ、よくかめる補綴装置を提供するために何が必要かを話題としてみたい。

トピックス

- 欠損歯列の評価法
- 欠損補綴の設計
- IOD・IARPD

藤関 雅嗣先生



藤関歯科医院
東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座

略 歴

1981年 東京歯科大学卒業
1981年 東京歯科大学歯科補綴学第三講座助手
1987年 藤関歯科医院開設（浅草診療所）
2000年 東京歯科大学歯科補綴学第三講座非常勤講師
2003年 学位受領（博士（歯学）東京歯科大学）
2006年 藤関歯科医院開設（神田診療所）
2022年 東京歯科大学水道橋病院 補綴科 臨床教授

所属学会など

日本補綴歯科学会（代議員・専門医・指導医）
日本口腔インプラント学会（専門医・指導医）
日本歯科放射線学会（歯科放射線准認定医）
日本顎咬合学会（噛み合わせ認定医）

— 本誌を複写される方に —

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

著作物の引用・転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接本会へご連絡下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

一般社団法人 学術著作権協会

FAX : 03-3475-5619 E-mail : info@jaacc.jp

ただし、アメリカ合衆国における複写については、次に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone : 978-750-8400 Fax : 978-646-8600

— 日補綴会誌への投稿方法 —

投稿希望の方は、下記の URL をご参照のうえ、

ご不明な点は学会事務局（電話：03-6722-6090）までお問合せください。

<http://www.hotetsu.com/t1.html>

日本補綴歯科学会 令和5年度第2回専門医研修会抄録集

令和5年6月18日発行

発行者 窪木拓男

編集 公益社団法人 日本補綴歯科学会

学会ホームページ /<http://www.hotetsu.com/>

〒105-0014 東京都港区芝2丁目29番11号

高浦ビル4階

公益社団法人 日本補綴歯科学会

電話 03(6722)6090